

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

| 第7期介護保険事業計画に記載の内容 | | | | H30年度(年度末実績) | | |
|-------------------|---|--|--|--|------|--|
| 区分 | 現状と課題 | 第7期における具体的な取組 | 目標(事業内容、指標等) | 実施内容 | 自己評価 | 課題と対応策 |
| ①自立支援・介護予防・重度化防止 | ○健康づくりのための知識の普及啓発について、医師・歯科医師等による専門職が啓発を行いたが、健診や健康相談については他課と連携しながら健康づくりを支援していく必要がある。 | ○特定健康診査、後期高齢者健康診査(ぎふ・すこやか健診、ぎふ・さわやか口腔健診)とがん検診を組み合わせる等、より受診しやすい環境づくりをする。 | 健康診査の実施 ○特定健康診査受診率 (H30) (H31) (H32) 受診率(%) 30 31 32 ○長寿健康診査受診率(すこやか健診) (H30) (H31) (H32) 受診率(%) 15 20 35 ○長寿健康診査受診率(さわやか口腔健診) (H30) (H31) (H32) 受診率(%) 5 6 7 | 医師会・歯科医師会への会議に出席し健診についての周知の実施(2回) ○特定健康診査受診率 (H30) 受診率(%) 28.9 ○長寿健康診査受診率(すこやか健診) (H30) 受診率(%) 17.2 ○長寿健康診査受診率(さわやか口腔健診) (H30) 受診率(%) 4.4 | ◎ | 【課題】 特定健康診査・後期高齢者健康診査とも受診率が県下でも低い。 【対応策】 市の関係機関が連携し、受診率等の情報共有や受診率向上のための方法を検討していく。 |
| ①自立支援・介護予防・重度化防止 | ○健康づくりのための知識の普及啓発について、医師・歯科医師等による専門職が啓発を行っているが、健診や健康相談については他課と連携しながら健康づくりを支援していく必要がある。 | ○運動や食事等生活習慣を基本とした、健康づくりを実践することの必要性や介護予防の重要性について、普及啓発をする。 | 健康教室の充実 ○健康講座の参加人数 (H30) (H31) (H32) 参加人数(人) 455 481 494 | 健康講座に参加するごとに、スマイルアップポイント(健康づくりの取り組みをポイント化)を付与し、景品をもらえる仕組みづくりの活用。 ○健康講座の参加人数 (H30) 参加人数(人) 427 | ◎ | 【課題】 健康教室の新規参加者が少ない。 【対応策】 健康部門が実施している、スマイルアップポイント事業(健康づくりの取り組みをポイント化)の周知が十分でないため、広報やホームページの他市全体の取組として周知していく。 |
| ①自立支援・介護予防・重度化防止 | ○生きがいづくりの場の運営のための担い手不足が懸念される。社会福祉協議会と連携し、自主的なボランティア活動が展開されるような生活の担い手となるボランティアの育成や啓発活動を行っていく必要がある。 | ○シニアクラブ会員の入会促進を行い活動の活性化を図る。 ○ボランティアに基礎や高齢者理解のための知識を学ぶ講座を開催する。 | 生きがいづくり ○単位シニアクラブ数 (H30) (H31) (H32) クラブ数(人) 33 45 55 | 担い手に関する研修会の実施 年1回 ○単位シニアクラブ数 (H30) クラブ数(人) 33 | ◎ | 【課題】 単位シニアクラブ数が会員の高齢化により増加が難しい。 【対応策】 シニアクラブの連合会以外の自主で活動しているシニアクラブを把握する。 |
| ①自立支援・介護予防・重度化防止 | ○介護予防についての普及啓発について、地域包括支援センターと市による出前講座や方法活動等により周知しているが、今後も引き続き周知啓発をすることが必要である。 | ○介護予防・日常生活圏域ニーズ調査や在宅会議実態調査等の結果を踏まえて、介護予防に関する啓発資料を作成する。 ○地域包括支援センターと市による出前講座や方法活動等により周知を今後も継続していく。 | 介護予防の推進 ○介護予防教室参加人数 (H30) (H31) (H32) 参加人数(人) 2,059 2,109 2,161 | 介護予防教室に参加するごとに、スマイルアップポイント(健康づくりの取り組みをポイント化)を付与し、景品をもらえる仕組みづくりの活用。 ○介護予防教室参加人数 (H30) 参加人数(人) 3,240 | ◎ | 【課題】 教室の参加者は、年々増加傾向にあるが新規の参加者が少ない。 【対応策】 今後は、各個人の自立度に合わせた教室の展開が必要であり、多職種が連携して教室を企画していく。 |
| ②給付適正化 | ケアプラン点検や研修を通じて介護支援専門員の適正なマネジメント活動の推進 | ○介護支援専門員の適正なマネジメント活動の推進のため、ケアプラン点検を全事業所に実施する。 ○ケアプラン点検・研修会を実施する。 | ケアプラン点検や研修を通じて介護支援専門員の適正なマネジメント活動の推進 ケアプラン点検 11事業所を2年間で実施 研修会 年2回実施 | ケアプラン点検や研修を通じて介護支援専門員の適正なマネジメント活動の推進 ケアプラン点検 5回 研修会 2回 | ◎ | 【課題】 訪問によるケアプラン点検を開始したばかりのため、事業実施に慣れていない。 【対応策】 年2回の研修は今後も続けていくが、研修以外の多職種連携の会議等でも、事業の進捗状況等について共有していく場を設ける。 |